

2018年度「共育塾」参加型福祉リーダー講座実施要項

1) 「共育塾」参加型福祉リーダー講座の基本コンセプト

- (1) 社会保障制度の給付抑制が進み不安感が増す中で、私たち自身が地域の課題に立ち向かうためには「参加型福祉」の活動・事業への共感を高め、参加型福祉をより充実・発展させて、市民主体の活動を地域で多様に展開していくことがこれまで以上に重要になります。
- (2) 非営利・協同セクターの社会的位置づけや参加型福祉への共感と理解を深め、居場所・たまり場を中心とするビジョンの共有、地域分析の実例を学びながら問題意識を深め、地域で「参加型福祉」を牽引するリーダー育成と共育を進めます。
- (3) 運動グループのメンバーが集い、共に学び意見交換しながら自分の立ち位置が相対化できるのは参加型研究センターの講座の特徴です。座学だけではなく、ワークショップやフィールドワーク等を取り入れて、意見交換がスムーズになるように進めます。

2) 「共育塾」参加型福祉リーダー講座の開催趣旨

- (1) 参加型福祉が息づくまちづくりに向けては、実践と理論に裏づけられたリーダーシップ形成が不可欠です。「参加型福祉」の担い手の育成と W.Co 運動を地域で牽引するリーダーの共育を図ります。
- (2) 居場所・たまり場を中心とするビジョンを共有し、地域アセスメントの一例として地域分析の実例を学びながら、参加型福祉について検討を深めていきます。
- (3) ニーズ発信者とサービス提供者が意見交換しながら地域で連携して何ができるかについて考え、それぞれの地域での活動展開の活性化へ寄与します。

3) 「共育塾」参加型福祉リーダー講座開催概要

(1) 開催時期・回数

2018年7月～11月開催、6回連続の登録制の講座とします。

(2) 開催場所

新横浜オルタナティブ生活館 5F 「まなびや」を基本とします。

(3) 受講対象者・募集人員

生活クラブ運動グループおよび単体 W.Co のリーダー（次期リーダー含む）とし、各団体に年間受講登録者を募集します。受講登録者目安は28名とします。

(4) 受講料：5,000円(会員外価格7,500円)

(5) 主な内容と構成

①主な内容：参加型福祉取組みの意義や現在の参加型福祉を取り巻く社会的課題やその背景の共有、居場所・たまり場を中心とするビジョンの共有、地域アセスメントの一例としての地域分析の実例を学び、共に考えることで参加型福祉について検討を深めていきます。

②構成：6日、16.5時間（6コマの座学（14.5h）とフィールドワーク（2h））

(6) カリキュラム編成の考え方

①毎回振り返りを行い、生活クラブ運動グループ内外の講師による講義と受講者のレポートをもとにしたディスカッション、ワークショップ、フィールドワークなどにより理解を深めながら、問題意識を掘り下げ、共有することをめざします。

②各団体のオリエンテーションが終った7月から開始し、次年度活動計画策定の参考にできるように、11月までの講座とします。

③若い組合員リーダーが参加しやすいように午前開催とし、意見交換の時間を取って進め

ます。

(7) 受講登録者目安及び締切

- ①28名の登録者を目安として、各構成団体での組織集約を依頼します。
- ②締切 6月8日(金)

(8) 2018年度「共育塾」参加型福祉リーダー講座カリキュラム

	日	時	区分	テーマ	講師・進行等(案)	ねらい	会場	
1日目	7月20日 (金)	10:00～ 12:30	30分	オリエンテーション	参加型福祉研究センター 共同代表	参加型福祉リーダー講座の主旨、講座受講の心構え等を共有します。講座を通して、参加型福祉のまちづくりに向けて今何が問題で、地域で必要なことは何かを考える、問題意識を持つことをねらいます。5日目にはレポートを出してもらい進めていくことやミニレポートの組織へのフィードバックについて説明して理解を得ます。	オルタ 館まな びや	
			2h	講義&意見交換	参加型福祉を取り巻く社会の変化	W.Co連合会 理事長 木村満里子氏		高齢化、人口減少、社会保障制度改革等、立ち止まることなく私達を取り巻く社会は変化しています。どのような現状や課題について、参加型福祉を中心に学びます。
2日目	8月9日 (木)	10:00～ 12:30	2.5h	講義&共有&意見交換	参加型福祉の取り組みの歴史と今日的意義	W.Co協会 理事長 中村久子氏	ますます社会保障の抑制が進んでいき人びとの不安感が増す中で、「参加型福祉」の活動・事業は重要性を増していきます。講座では「参加型福祉」の歴史から事業・活動への理解と共感を高めます。	オルタ 館301
					居場所・たまり場を中心とするビジョンの共有	横浜みなみ地域生協 篠崎みさ子氏	参加型福祉のまちづくりに向けて、2017年度に地域生協でまとめた「参加型福祉まちづくり政策検討プロジェクト答申」を共有し、共に考えます。	
3日目	9月26日 (水)	10:00～ 12:30	2.5h	講義&意見交換	参加型福祉の広がりの共有～コミ・オブ福祉の実際について～	家事介護W.Co 食事W.Co 移動W.Co W.Co連合会 専務 井上浩子氏	参加型福祉の特徴であるコミ・オブ福祉の実際について、現場のリーダーから現状と課題を学ぶと共に、W.Co連合会としてどのように捉えているのかを共有し、理解を深めます。	オルタ 館301
4日目	10月2日 (火)	10:00～ 12:00	2h	講義&意見交換	参加型福祉を地域で進めていくために～地域分析の実例を学ぶ～	横浜プランナーズネットワーク 事務局 谷口和豊氏	地域で活動を進めていく際には、先ず「地域を知る」ことが大事です。地域アセスメントの手法は様々ありますが、実例のひとつとして、データを活用した分析を学びます。	オルタ 館まな びや
		13:30～ 15:30	2h	フィールドワーク	地域の実践例に学ぼう、見てみよう!	現地	地域の実践例を見て学びます。	
5日目	10月26日 (金)	10:00～ 12:30	2.5h	ワークショップ	私達が描く参加型福祉とは	コーディネーター 横浜地域福祉研究所 所長 佐塚玲子氏	これまでの講義を受けて自分の組織に持ち帰り、検討した事をベースにレポートを提出します。レポートをもとに、参加型福祉のまちづくりに向けて共感できること、自分達はどのように考えているのかを出し合い、推進していくための課題を抽出します。	オルタ 館まな びや
6日目	11月21日 (水)	10:00～ 12:30	2.5h	ワークショップ	地域で拓く参加型福祉の可能性	参加型福祉研究センター 共同代表	社会保障制度改定等があり将来の見通しがたちにくい社会状況の中で、人と人のつながりや家族形態の多様化によって、地域コミュニティや家族の問題力の低下が顕著になっています。これほど参加型福祉が息づくまちづくりが求められているときは無いでしょう。課題解決のために自分達にできることは何かを考えます。	

* 各回の講座終了時には、ミニレポートを作成し、次回の振り返りに活かすと共に、共有のため選出組織にフィードバックします。

参加型福祉研究センター行き

「共育塾」参加型福祉リーダー講座受講申込用紙

◆申し込み〆切り：2018年6月8日（金）

◆申し込み先：参加型福祉研究センター（河内）

e-mail：sanka-fukushi@systemken.org

会員団体名：_____

記入者：_____

1	氏名			
	住所（自宅）	〒		
	電話（自宅）		FAX（自宅）	
	e-mail			
2	氏名			
	住所（自宅）	〒		
	電話（自宅）		FAX（自宅）	
	e-mail			
3	氏名			
	住所（自宅）	〒		
	電話（自宅）		FAX（自宅）	
	e-mail			
4	氏名			
	住所（自宅）	〒		
	電話（自宅）		FAX（自宅）	
	e-mail			
5	氏名			
	住所（自宅）	〒		
	電話（自宅）		FAX（自宅）	
	e-mail			

※記入いただいた個人情報は、参加型福祉リーダー講座の目的以外には使用しません。

<問合せ・送付先>

参加型システム研究所・参加型福祉研究センター（担当：河内）

〒231-0006 横浜市中区南仲通 4-39 石橋ビル 4F 参加型システム研究所内

Tel：045-222-8720 / Fax：045-222-8721

e-mail：sanka-fukushi@systemken.org